



あさの しゅういち
浅野 修一 議員

防犯体制確立

防犯カメラの増設出来ないか 計画的な設置を進めている

問 入野・三浦小学校前、大方・佐賀中学校、入野・佐賀駅前など、町内16ヶ所にカメラ設置があると思うが、未設置の公共施設等の周辺に、町民の命、安全安心のため、防犯カメラの増設を出来ないか。

宮川 情報防災課長

事件や事故の未然防止、さらには発生時の早期解決や捜索活動など、防犯カメラの設置は極めて有効な手段であると認識している。

一方で、防犯カメラの映像は個人情報であり、設置にはプライバシー保護への十分な配慮が必要不可欠であると考えます。本町においては、まずは喫緊の課題である児童生徒の安全確保を最優先とし、教育委員会において県の補助事業を活用した「子ども見守りカメラ」の計画的な設置を進めている。

問 保育所、小・中学校

へのカメラの設置状況はどのようなもので、未設置箇所において、今後、設置の予定はあるか。

答 渡辺 教育次長

現在、三浦小学校、入野小学校、大方中学校、佐賀中学校、あかつき館

の周辺に設置をしている。

今年度は佐賀中学校に、来年度は拳ノ川小学校の各通学路に設置を予定。

なお、この事業は高知県警が実施の補助事業で、補助率は50%。

問 主要道路の接続場所

(国道・県道・町道の交差点付近)に防犯カメラの設置をできないか。

宮川 情報防災課長

事件、事故の早期解決や、抑止力に高い効果が期待できる反面、個人情報を広範囲に取得することになり、より厳格なプライバシー保護など課題を慎重にクリアしていく必要があります。防犯体制の確立はカメラ設置に依存せず、地域の見守り活動の活性化や地域全体での、犯罪



防犯カメラ設置 (㊤入野小学校、㊦佐賀中学校体育館)

を寄せ付けない安全安心の街づくりを引き続き推進していく。

問 個人及び事業者等に防犯カメラ設置の補助金制度の施行はできないか。

答 宮川 情報防災課長

現時点で、補助制度を創設する予定はない。

問 防犯体制確立に、町長と教育長の思いを問う。

答 大西 町長

課長、次長の答弁と大きな齟齬(そご)はなく、地域ぐるみや啓発活動、必要な所への設置の方向に変わりはなく、最大の趣旨の防犯体制の確立も、あらゆる分野で尽力する。

答 宮川 教育長

子どもの安全安心は守り抜かなければならない。学校運営協議会や安全対策連絡協議会と共に、適切に対応する。